

第2期 湖南省スポーツ推進計画

ずっとここに暮らしたい！

スポーツで“つなぐ”
きらめき湖南



平成31年(2019年)8月

湖南省教育委員会

湖南省スポーツ推進計画 概要

湖南省総合計画 (まちの将来像)

ずっとここに暮らしたい！
みんなで創ろう きらめき湖南

スポーツ基本法

スポーツを通じて幸福で豊かな
生活を営むことはすべての
人々の権利
【 8つの基本理念 】

目指す未来

ずっとここに暮らしたい！
スポーツでつなぐ きらめき湖南

基本的な目標

自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、
だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな
未来を創る

基本方針

① 気楽につなぐ！
ライフステージに
応じた体と心を癒す
スポーツ機会の充実

③ 地域でつなぐ！
いつでも、どこでも、
だれでも
親しむことができる
スポーツ環境の充実

② 笑顔でつなぐ！
子どもとスポーツの関
わり方やスポーツ交流
をはじめとする
スポーツ活動の継続

計画の期間

平成31年度(2019年度)から概ね5年間

スポーツ推進の具体的展開

基本方針

気楽につなぐ！

ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実

笑顔でつなぐ！

子どもとスポーツの関わり方やスポーツ交流をはじめとするスポーツ活動の継続

地域でつなぐ！

いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実

展開方策

だれでも気軽にできるスポーツ機会の充実

年齢・体力に応じたスポーツの推進

ニュースポーツの推進

幼児期の運動・学校体育の充実

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブへの参加の推進

学校施設の開放

地域・スポーツ団体の協働の推進

スポーツ施設、学校体育施設の充実と有効活用

スポーツと健康の関わり方

さらに

国・県との連携

- 競技力の向上
- トップアスリートの育成

市施策

イベント等でトップアスリートを招待し、子どもがアスリートと接する機会を提供する。

目 次

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって	1
1 策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 目指す未来と基本的な考え方	3
1 目指す未来	
2 基本的な目標	
第3章 スポーツ推進の基本方針	4
1 気楽につなぐ！ ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実	
2 感動につなぐ！ 子どもとスポーツの関わり方やスポーツ交流をはじめとするスポーツ活動の継続	
3 地域につなぐ！ いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実	
資料	18
・ 湖南省スポーツ推進審議会委員名簿	

※2018年「湖南省民のスポーツ・健康づくりに関する実態調査」を実施し、立命館大学長積教授の分析結果を本推進計画で引用しています。

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

2020年の東京オリンピックを間近に控え、熱狂的になれる競技スポーツも盛り上がりを見せていますが、一方でスポーツの位置づけが生涯スポーツとしてライフスタイルにも取り込まれつつあり、健康づくりや充実した余暇を過ごすためにスポーツをされる方が増えています。

スポーツ庁の発足など、近年は団体名や大会名など多くの場面で「スポーツ」の語が用いられています。教育的意味合いの強い「体育」から、国民の健康増進や余暇活用など社会的ニーズが広まる中、平成30年4月1日付で「公益財団法人日本体育協会」が名称を「公益財団法人日本スポーツ協会」に変更されました。また、併せて滋賀県でも「公益財団法人滋賀県体育協会」から「公益財団法人滋賀県スポーツ協会」に名称変更されました。

さらに、「国民体育大会」の名称については、「国民スポーツ大会」に変更する方針を承認されました。

平成23年8月に改正されたスポーツ基本法の基本理念においても「第二条 スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、国民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じて行うことができるようにすることを旨として、推進されなければならない。」とされています。湖南省においてもニーズやライフスタイルの変化などがある中で柔軟かつ弾力的なスポーツ推進の取組が必要です。このような状況を踏まえ、現状と課題を把握したうえで、本市の目指すスポーツ施策の基本理念、方向性を明らかにし、その実現に向けた施策を優先的かつ計画的に進めていくため、「第2期湖南省スポーツ推進計画」を策定するものです。

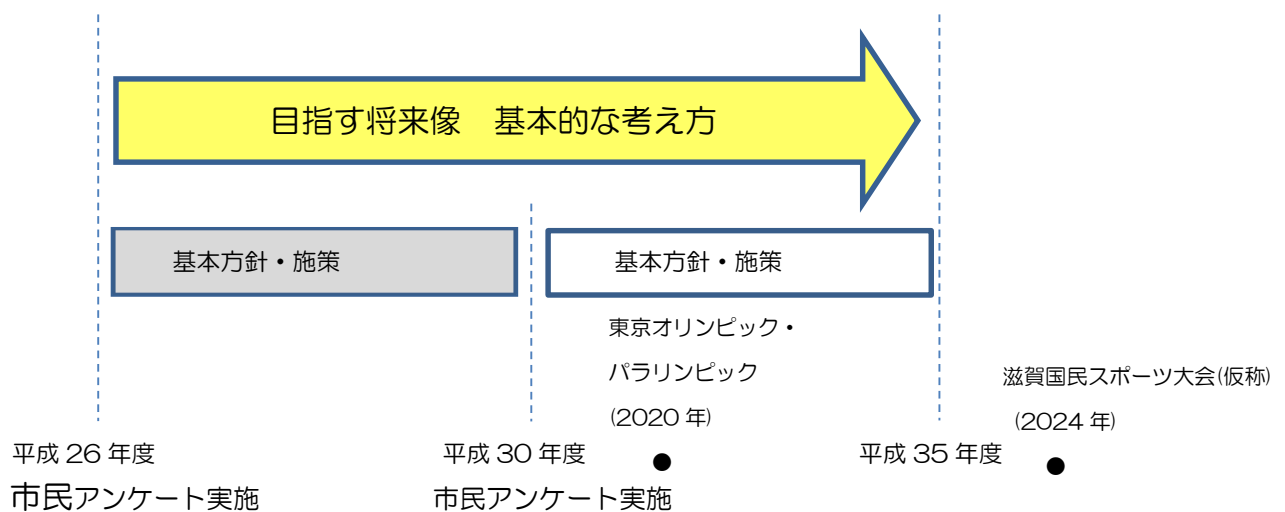
2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に明記される「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする」に基づく計画です。

なお、湖南省総合計画ならびに湖南省教育振興基本計画をはじめ、湖南省地域福祉計画、湖南省障がい者の支援に関する基本計画、健康こなん21計画・食育推進計画などの関連計画を踏まえ、今後の本市スポーツの目指す姿に向けて、事業を進めるうえでの方向性や取り組むべき施策を示しています。

3 計画の期間

本計画は、平成26年度から10年間の基本的な目標と方針に基づき、概ね5年間にわたる計画とします。



第2章 目指す未来と基本的な目標

1 目指す未来

ずっとここに暮らしたい！

スポーツでつなぐ きらめき湖南

湖南省ではまちの将来像である「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南（湖南省総合計画）」のもと、スポーツを通じて市民の健康の保持増進や余暇活動の充実を図るとともに、地域のつながりや感動を分かち合えるような暮らしや環境を築く「ずっとここに暮らしたい！ スポーツでつなぐ きらめき湖南」の実現に向けて推進します。

2 基本的な目標

スポーツ基本法の理念、湖南省総合計画および湖南省教育振興基本計画等を踏まえ、「自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな未来を創る」ことを本市のスポーツ推進の基本的な目標とします。

第3章 スポーツ推進の基本方針

基本方針 1 気楽につなぐ！

ライフステージに応じた体と心を癒す
スポーツ機会の充実

現状と課題

(1) 運動・スポーツ実施状況について

- 「週 1 日以上」の定期的な運動・スポーツ活動を実施している割合は 39.9%で、滋賀県平均 36.0%（平成 28 年度）、全国平均 42.5%（平成 28 年度調査）です。
- 実施しているスポーツについては、最も多いのは「ウォーキング」で3割を超え、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、水泳など比較的軽い運動・スポーツの人気が高いと言えます。また、運動・スポーツを行った理由を見ると、「健康の保持増進」「体力の向上」「ストレス解消・気晴らし」の回答が特に多くなっています。また、「病気の予防と治療」の回答が前回調査時よりもかなり高い数値になっております。
これらのことから、スポーツを実施している人は健康を意識している人が多い傾向がうかがえます。

.....

(2) 年代別の運動・スポーツ状況について

- 運動・スポーツの週1回以上の実施状況を年代別で見ると10歳、60歳、70歳代の実施率が高いのに比べて、20歳代～50歳代の実施率が低くなっています。とくに、男性は20歳、50歳代の運動・スポーツ実施率が低くなっています。
- 今後、「運動・スポーツをしてみたい」割合は、実施率の低かった30歳代が53.8%と最も高く、10歳代においても50.0%と高くなっています。全体的にみても、「実施してみたい」割合が41.2%あり、運動・スポーツの実施に対するニーズや欲求があるにもかかわらず実現できていないことから、参加できる機会や環境を整え、広く情報を周知することが課題と考えられます。

展開方策

1 だれでも気軽にできるスポーツ機会の充実

競い合うことだけがスポーツではなく、より多くの市民が健康保持づくり、日頃のストレス解消や仲間づくりなど、目的に応じて、いつでもスポーツを日常的に感じ親しみ、自らスポーツをやりたいときに気軽にできるようなスポーツ機会の充実が重要です。ジョギングや体操、ヨガなど自らがいつでもおこない、リラックスできるスポーツの推進や障がいのある人も気軽に参加できるイベントの提供や支援の推進、さらにはボランティアとして支えるなどスポーツに携わる様々な機会づくりを推進します。

-
- 誰でもできるスポーツの推進
 - 気軽に参加、参画できる機会づくりの提供
 - いつでもできるスポーツの推進



2 年齢・体力に応じたスポーツの推進

社会環境や家庭環境、地域との関係性も大きく変化し、**運動・スポーツ**に対する個人それぞれの考え方の多様化により、同じ年代であっても健康増進や競技力の向上など市民のニーズは様々です。高齢化が進む中、生きがいのある生活を創り出すために、生涯にわたり運動・スポーツを習慣化することが重要です。楽しみながらの適度な運動の推進や健康づくりに欠かせない栄養面や生活習慣からのサポート、多種目を体験できる総合型地域スポーツクラブを活用したスポーツ活動や体カづくりを促進します。

- 運動・スポーツ活動の習慣化の推進
- 健康づくりの推進、年齢に応じたスポーツの促進



いきいき百歳体操

3 ニュースポーツの推進

老若男女、障がいの有無に関係なく、みんなが楽しめるスポーツとしてニュースポーツがあります。日頃運動をしていない人の25.4%が「一緒に行く仲間がいれば」運動やスポーツを行うとアンケートで回答しています。競技スポーツとなれば、実力の差が顕著に出てしまい、一緒にする仲間がどうしても集めにくいのが現状です。その点、ニュースポーツは、誰もが気軽に参加できるという点が魅力です。また、学校や地域へ出向いてニュースポーツの指導・普及に努めています。現在も、スポーツ推進委員が市内体育施設でスポーツデーを月に2回実施し、必ず1つニュースポーツを行い、普及活動をしています。団体に対してはニュースポーツの道具の貸出も行っていますが、今後より一層、ニュースポーツが市民の身近なものとなるよう普及促進していきます。

- スポーツデーの普及促進
- ニュースポーツの普及、道具の貸出の周知・発信
- 学校・地域へのニュースポーツの出前講座の実施

指 標

成人の週1回以上のスポーツ実施率

(平成30年度)

(平成35年度)

39.0% → 42.5%

例) 滋賀県、全国平均を超える(数字は目標としない)

基本方針 2 **感動でつなぐ！**

スポーツ活動の継続

現状と課題

(1) スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの加入について

○ 少子化により子どもの数が減少する中、地域における青少年のスポーツ環境であるスポーツ少年団においても、年々団員数、加入率ともに減少傾向にあります。

また、総合型地域スポーツクラブの会員数も減少傾向です。子どもから大人まで継続してスポーツをする機会はあるので、いかにして周知して加入してもらうかが今後の課題と言えます。

(2) 運動施設の提供について

○ スポーツをしない人に対して「どんな条件が整えば運動やスポーツを行うと思うか」という問いかけに対し、30%以上が「身近に施設や活動場所があれば」と答えています。学校施設開放という形で市内の全小中学校の体育館およびグラウンドを無料で開放しています(照明代のみ徴収、小学生の団体であれば照明代も無料)。他にも社会体育施設もあり、継続的にスポーツを行う環境はあるが周知しきれていないと言えます。

.....

展開方策

1 幼児期の運動・学校体育の充実

子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。この幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、そこで生涯における豊かなスポーツライフを実現するための基礎となる学校体育においても取組内容の充実や地域、スポーツ団体との連携、健康づくりに努めます。

- 親子で参加できるスポーツ機会づくり
- 地域、スポーツ団体等との連携
(スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ」など)
- 「健康こなん21計画・食育推進計画」に基づく健康づくりや食育の推進



スポーツ少年団女性会議
子どもの成長に合わせた料理作り

2 スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブへの参加の促進

スポーツ活動はからだだけではなく、こころの健やかな成長にも大きな役割を果たしています。

スポーツ少年団ではスポーツ活動だけではなく、競争力や協力すること、相手をいたわることの大切さ、自ら考えて行動する能力などを習得することができます。さらに、活動を通して個人として、チームとして目標に向かって努力し感動を味わうことができます。

また、総合型地域スポーツクラブの「ちょいスポクラブ（キッズクラブ）」では地域住民が主体的に運営し、複数の種目のスポーツが経験できる地域スポーツクラブとして運動離れの子ども達にとって大きな役割を果たしています。

このような子どもの運動・スポーツ離れを解消できるスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ（キッズクラブ）」の加入促進をします。

- 競技力+ α を習得できる魅力のPR
（協調性、自主性、コミュニケーション能力、地域の連携など）
- 多様なスポーツを体験できる機会の提供
- 正しい知識を持った指導者の育成



スポーツ少年団入団体験



湖南市ちょいスポクラブキンボール大会

指 標

スポーツ少年団の入団率

(平成25年度)

(平成30年度)

27.3%



30.0%

例) 学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っている児の増加
現状 55%(H28)、目標 56% 健康こなん21計画より



基本方針 3 **地域でつなぐ！**

いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実

現状と課題

(1) スポーツイベントの参加状況について

- 本市の共催事業である「湖南スポーツフェスティバル」の認知度は約5割ですが、参加したことがある人は、男子 14.5%、女子 9.3%となっています（アンケート実施時は第一回のみ開催済み）。そのほかのスポーツイベントについても、認知度に比べ参加者は少なくなっています。
- 参加したいと思う講座・行事・イベントについては、だれでも気軽に参加できるスポーツイベントや健康づくりのための講座に高い関心があります。家庭環境や地域のつながりも変化してきているなかで、スポーツに対して競技としてだけでなくニーズに合わせたスポーツの提供が課題となっています。

(2) 公共スポーツ施設の利用実態について

- 湖南市内にある公共スポーツ施設について、過去1年間に約5割の人が利用され

.....

ていません。また、休日の利用は多いが平日の利用は非常に少なくなっています。

さらに、施設数は少なくありませんが老朽化した施設も多く、安全性も考慮した計画的な修繕が必要です。

展開方策

1 地域、スポーツ団体等の協働の推進

地域の活性化やスポーツ振興に関わる様々な団体が、スポーツを通じてつながり、協働し、連携することが青少年の健全育成や高齢者の健康づくりを促進させ、活気あふれるまちづくりに貢献することが期待されます。

そのため、地域や各スポーツ団体等が連携し、高度な人材やスポーツに関する幅広い知識、各スポーツ団体からの情報提供など様々な資源を最大限に活用し連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組みます。

- スポーツ推進委員による積極的な地域スポーツのコーディネート
- 地域と湖南省体育協会などスポーツ団体が連携・協働したイベントの開催



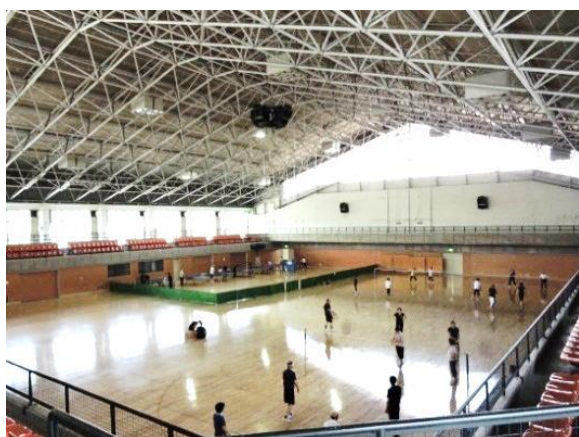
湖南省スポーツ推進委員事業

2 スポーツ施設、学校体育施設の充実と有効活用

本市には野洲川親水公園や希望ヶ丘文化公園など、子どもたちや働く人たち、地域住民のスポーツ活動にとってスポーツを身近に感じ親しむためのスポーツ施設や学校体育施設があり、重要な役割を果たしています。

そこで、このような施設を活用し、スポーツに関する様々な情報の収集や発信、地域のつながりを実感できる環境づくりに取り組みます。また 2024 年の滋賀国民スポーツ大会(仮称)や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、安全でだれでもが利用しやすい施設をめざし、効率的な利用の促進や計画的な施設の改修に努めます。

- 地域と協働で行うスポーツ施設の整備
- 学校施設開放事業の推進



湖南市総合体育館

3 スポーツと健康の関わり方

互いに相関的な関係にあるスポーツと健康の関わり方はとても重要です。本市でも、スポーツイベントと健康イベントを同日にタイアップして実施するなど、スポーツと健康を関連付ける事業を行っています。また、本市独自で健康こなんポイント(※1)という制度があります。「BWA-TEKU」アプリや健康こなんポイントカード(※2)にて健康ポイントを貯めると、商品と交換することができます。スポーツ事業への参加や個人目標(ウォーキング、ランニング、体操など)をたてて毎日実践するとポイントがもらえます。スポーツと健康に非常に関わりの強い事業で、これを推し進めることで、スポーツの継続的な実施や健康の促進などが期待できます。

- 部署を超えての横断的な連携
- 各種スポーツイベントでの周知

※1 健康こなんポイント

健康こなんポイントとは湖南省独自のポイント制度で、市主催や共催のスポーツイベント等に参加したり、健康診断や人間ドック等の検診を受診することでポイントがもらえる。また、ウォーキング、ランニング、体操など自分で目標を設定して毎日実施することでもポイントをもらうことができる。そこで貯めたポイントは賞品と交換することができる。

※2 「BWA-TEKU」アプリや健康こなんポイントカード

健康こなんポイントを貯めるアプリとポイントカード。スマートフォンを持っている人は「BWA-TEKU」、持っていないには健康こなんポイントカードを推奨している。

指 標

総合型地域スポーツクラブの会員数

(平成25年度)

(平成30年度)

289人 → 400人

- ・実際は人数が減っているので、増やすという目標はどうか。



湖南省スポーツ推進審議会委員

平成 30 年度

藤田 聡 (立命館大学スポーツ健康科学部教授)
岩島 武男 (湖南省立菩提寺小学校教諭)
西山 克哉 (ロンドンパラリンピック セーリング代表)
中村 美智枝 (湖南省健康推進員協議会)
福島 康男 (湖南省体育協会 理事長)
原田 孝 (湖南省スポーツ少年団)
緒方 益博 (湖南省スポーツ推進委員)
今村 富子 (湖南省ちよいスポクラブ)